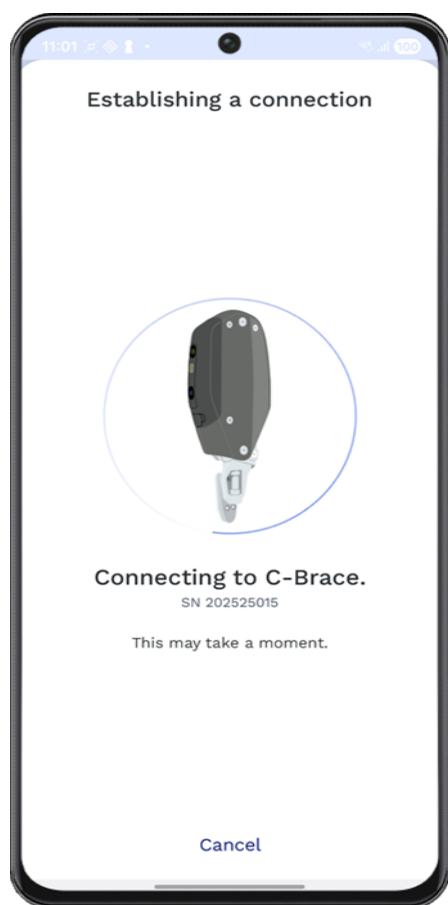




C-Brace 編 操作マニュアル

connectgoユーザーアプリ

2026年9月版



【目次】

1. はじめに
2. 稼働環境
3. 初期設定
4. 接続
5. 基本画面
6. 設定値の微調整
7. 接続パーツの追加と削除
8. C-Braceの電源とBluetooth
- 9.直感的サイクリングモード

1. はじめに

connectgoユーザーアプリは、オットーボックのコンピュータ制御膝継手/足部の充電残量や歩数を確認することができる装着者向けのアプリです。

2. 稼働環境

1) Android環境

Android 12.0 以上（2026年9月現在）



2) iOS環境

iOS 17 以上（2026年9月現在）

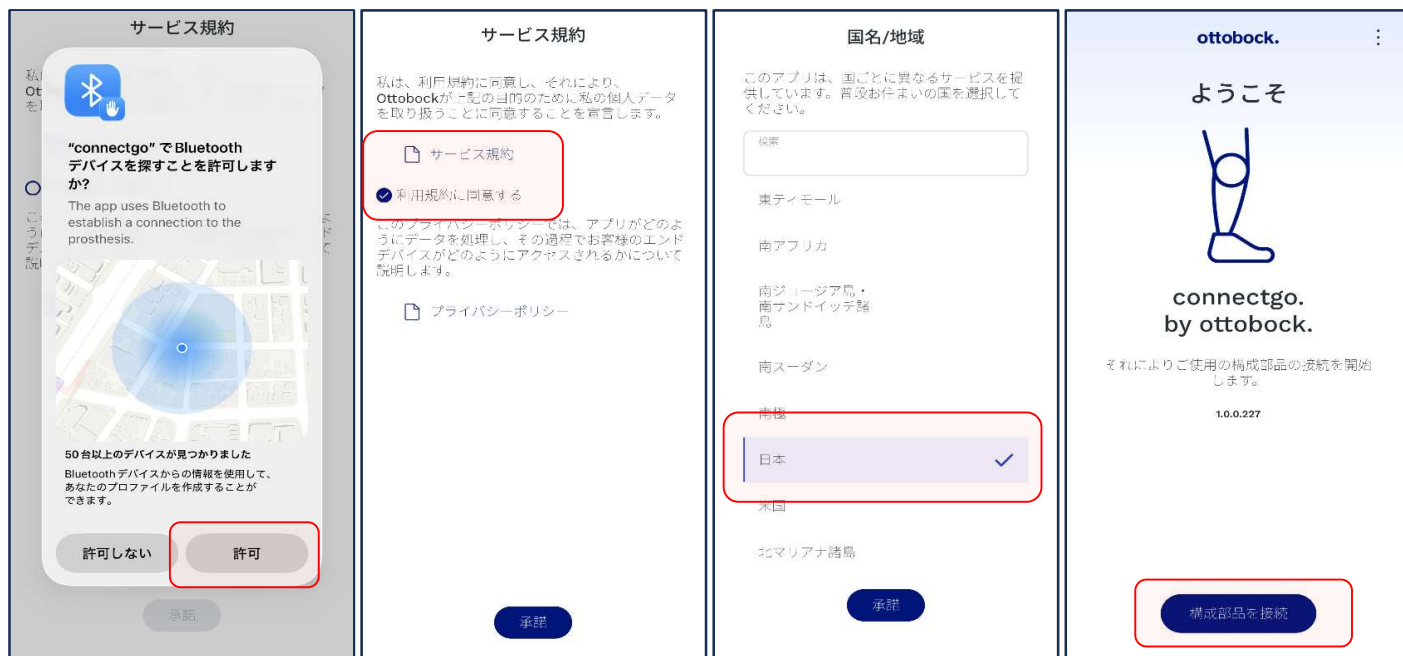


3. 初期設定



アプリを起動します。

初めて接続する場合は、インターネット環境が必要です。



「許可」を選択

サービス規約を読み
「利用規約に同意する」
を選択

日本語を選択

「構成部品と接続」
を選択

4. 接続



シリアル番号を確認し「接続」を選択

該当するC-Braceが表示されない場合

- ・ C-Braceのブルートゥースを起動する
「8-2. ブルートゥースのON/OFF」参照
- ・ タブレットのブルートゥースを起動する



「ペアリング」を選択



4桁のPINコードを入力



接続が開始されます

5. 基本画面



- ① 本体の充電残量
- ② トレーニングモード
遊脚相への切替えを練習するモードです。
・要件を満たすと、ビーブ音が発せられる
・座位動作は可能
- ③ 固定位置
任意の角度で屈曲伸展方向共にロックするモード
1) C-Braceを屈曲させる
2) モードを起動する
3) 屈曲伸展方向にロックする
- ④ 選択したマイモード
- ⑤ 直感的サイクリングモード
調整アプリで選択した場合のみ表示されます。
詳しくは「9.直感的サイクリングモード」参照
- ⑥ 歩数



- ⑦ オーディオ設定
音量とピッチの変更が可能です。



- ⑧ 構成部品の管理
アプリに接続する膝継手の追加削除が可能です。
例えば両側で使用している場合など、アプリとの接続切替えができます。



- ⑨ 言語
アプリに表示させる言語の選択ができます。
- ⑩ サービス規約
- ⑪ プライバシーポリシー
- ⑫ オープンソースソフトウェア

メニュー

- ⑧ 法的開示
アプリのバージョンが確認できます。
必ず最新バージョンを使用してください。
version 1.0（2026年7月現在）



【通知】

本体の充電中は、アプリとの接続ができません。

メンテナンス時期になると、通知がされます。
担当の義肢装具士にお問合せください。



6. 設定値の微調整

6-1. 通常モード



義肢装具士が調整アプリで設定した項目の微調整、ON/OFFが可能です。

【注意】 恒久的に値を変更して使用する場合は、担当の義肢装具士に調整依頼してください。

赤枠のマークをタップすると、微調整が可能な項目が表示されます。

【補足】 機能の詳しい内容は、担当の義肢装具士にご確認ください。



- ① 屈曲抵抗値
* 恒久的に値を変更して使用する
場合、担当の義肢装具士に調整
依頼をしてください。
- ② 屈曲抵抗プラス
- ③ 立位機能*
- ④ シッティング機能*
- ⑤ 直感的サイクリング*
- ⑥ 傾斜や階段を下る*

*調整アプリでONにした時のみ表示

6-2. マイモード

MyModeの調整



屈曲

基本屈曲抵抗

-

90

+

最小

最大

0

200

使用者の設定範囲 (70 - 110)

この値は、膝継手の屈曲時に生じる屈曲抵抗として測定されます。

屈曲抵抗が増加

-

36

+

最小

最大

0

100

使用者の設定範囲 (26 - 46)

屈曲抵抗は、選択した傾斜に応じて膝の角度が増加するにつれて増加します。

MyModeの保存

- ① 基本屈曲抵抗
膝が屈曲し始める際の抵抗値
- ② 屈曲抵抗の増大
屈曲抵抗値の増加する度合い

7. 接続パーツの追加と削除

7-1. 接続パーツ

メニューから「構成部品の管理」を選択



「接続完了」接続中の個体



7-2. 接続パーツの切替え



「接続」を選択して切替えます。

【補足】

両側で使用している場合など、パーツ名を変更しておくと便利です。
パーツ名は調整アプリで設定が可能です。
担当の義肢装具士にご相談ください。

7-3. 接続パーツの追加



接続をする個体が「利用可能なパーツ」に表示されたら「接続」を選択します。

本手順書「4. 接続」手順を実施し接続。

7-4. 接続パーツの削除



「編集」を選択するとゴミ箱マークが表示される。
接続を削除するパーツのゴミ箱マークを選択し、削除します。

8. C-Braceの電源とBluetooth

8-1. C-Brace本体の電源ON/OFF



① 電源ボタン

電源ボタンを長押しして、電源のON/OFFが可能

ON： 「ブープ（1回長く+1回短く）」と、バイブレーションが发せられる

OFF： 「♪♪♪♪（下がる）」メロディーが鳴る

【補足】

- ・ 充電器の接続前後で電源ON/OFFステータスは変わらない
→ 電源OFFの状態で充電した場合、充電器を取外した後も、電源はONにはなりません

【補足】

メンテナンス等で輸送する際は、電源をOFFにしてください

8-2. BluetoothのON/OFF



② Bluetoothボタン

ボタンの長押しで、BluetoothのON/OFFが可能

ON/OFF操作時共に

「ブッ（1回短く）」と、バイブレーションが发せられる

【補足】

航空機に乗る際など、必要に応じてOFFにできる

ステータスの確認



電源ボタンまたはBluetoothボタンを1回押す

ONの場合は青く点灯

connectgo.pro調整アプリおよびconnectgoユーザーアプリとの接続する場合は、必ずONにすること

9. 直感的サイクリングモード

屋内に設置されているエアロバイクを使用することが可能な機能です。
2026年9月以降に出荷される「17K01-2」より追加された新機能です。



【はじめに】

「直感的サイクリング」が表示されてない場合、この機能は使用できません。調整アプリでの設定がOFFです。

動作での起動：

- ・ サドルに座り、足部を安定させる
- ・ 最低2回転ペダルを漕ぐ
- ・ 油圧抵抗が下がり軽くペダルを漕ぐことができる

マイモード切替える：

- ・ サドルに座り、足部を安定させる
- ・ 矢印を上方にスワイプして切替える
- ・ ひと漕ぎ目から軽くペダルを漕ぐことができる

<モードの解除>

下記のいずれかを検知すると、C-Braceは設定した歩行モードに戻る

- ・ 屈曲角度が15°以下になる（伸展状態）
 - ・ 10°以上後傾する
- リカンベントバイク（ペダルが前方にあるタイプ）では、モード解除を検知するため使えません

【起動条件】

下記の条件を満たすように、座面の位置と高さを調整します。

座面が高すぎる、および後方に位置しすぎると解除要件を満たし、機能は起動しません。



C-Braceが屈曲している



足関節が膝継手回転軸の後方にある



最低2回転ペダルを漕ぐことで油圧抵抗が下がり軽くペダルを漕ぐことができる

オットーボック・ジャパン(株)
www.ottobock.com/ja-jp